

第3 技術提案書の作成要領（案）

技術提案書の作成にあたっては、「第2 業務仕様書」に記載されている内容等を技術提案書に十分に反映させることが必要となりますので、内容をよくご確認ください。

1. 技術提案書の構成と様式

技術提案書の構成は以下の通りです。

技術提案書に係る様式のうち、参考様式については機構ウェブサイトからダウンロードできます。ただし、あくまで参考様式としますので、応募者独自の様式を用いていただいても結構です。技術提案書のページ数等については、以下のとおりです。

(https://www.jica.go.jp/announce/manual/form/domestic/op_tend_evaluation.html)

(1) 構成・分量

項目	様式	分量
1) 業務従事者の経験・能力等 a) 類似業務の経験（一覧リスト） b) 類似業務の経験（個別）	a) 様式1（その1） b) 様式1（その2）	a) A4 1 ページ以内 b) A4 2 ページ以内
2) 業務の実施方針等 a) 業務実施の基本方針・方法 b) 業務実施スケジュール	任意様式	A4 3 ページ以内
3) JICA の民間連携事業についての意見、アイデア等	任意書式	A4 1 ページ以内

(2) 体裁

技術提案書（簡易プロポーザル）は文書作成ソフトを用いて作成すること。表紙に、業務名、提出年月日（西暦）、法人名または国際協力人材登録番号等を記述してください。

2. 技術提案書作成に係る要件・留意事項

本業務に係る技術提案書作成に際して留意頂くべき要件・事項について、以下のとおり整理します。

(1) 業務従事者の経験・能力等

自社が業務を受注した際に適切かつ円滑な業務が実施できることを証明するために参考となる、応札者の類似業務の経験について記述願います。

1) 類似業務の経験

類似業務とは、業務の分野、サービスの種類、業務規模などにおいて、蓄積された経験等が当該業務の実施に際して活用できる業務を指します。原則として、過去 10 年程度の実績を対象とし、最大でも 10 件以内としてください。また、業務実績の中から、当該業務に最も類似すると思われる実績（特に ODA 事業を含む企業の海外展開支援に係る実績を評価）を 3 件以内で選び、それらの業務内容、活動内容、成果、当該業務との類似点を記述ください。特に、何が当該業務の実施に有用なのかが分かるように簡潔に記述してください。

(2) 業務の実施方針等

業務仕様書に対する、応札者が提案する業務の基本方針、業務を実施するために用いようとしている方法や手法などについて記述してください。

1) 業務実施の基本方針（留意点）・方法

- a) 業務仕様書について内容及び目的を理解したうえで、どのような方針・方法で業務に臨むのか、また、どのような事柄に留意し業務を実施するのかを業務ごとに提案願います。
- b) 提案にあたっては、本説明書に示した業務内容を基本とし、応札者の特徴を活かした提案内容としてください。
- c) 特に、本業務では、新規優良企業の発掘に加え、質の高いコンサルティングによる熟度の高い案件形成や各企業のニーズに応じたフォローアップの充実といったサービスの「質」の向上を重視しています。これを踏まえ本業務の目的、期待される成果に照らして、適切かつ効果的な業務実施の基本方針、実施方法を提案願います。
- d) 四国における民間企業の海外展開に係る現状・課題分析及びそれに対して本業務を通じた課題解決方法をご提案願います。
- e) また、実施方法については、具体的な手法及び手順ならびにその頻度（目安）を検討し、技術提案書に記述ください。

2) 業務実施スケジュール

業務実施にあたっての作業工程をフローチャート・作業工程計画書等で作成願います。

3. その他

技術提案書は可能な限り 1 つの PDF ファイルにまとめて、提出ください。

別紙：評価表（評価項目一覧表）

評 価 表 (評価項目一覧表)

評価項目	評価基準 (視点)	配点
1. 業務従事者の経験・能力等		100
(1) 類似業務の経験	● 類似業務については実施件数のみならず、業務の分野(内容)と形態、発注業務との関連性に鑑み総合的に評価する。 ● 特に評価する類似案件としては、JICA関連業務、民間企業の海外展開支援業務に関する各種支援業務とする。 ● 概ね過去10年までの類似案件を対象とし、より最近のものに対し高い評価を与える。	100
2. 業務の実施方針等		100
(1) 業務実施の基本方針 (留意点)・方法	● 業務の目的及び内容等に基づき業務実施のクリティカルポイントを押さえ、これに対応する業務方針が示されているか。 ● 提案にあたっては、本説明書に示した業務内容を基本としつつ、応札者の特徴を活かした提案内容となっているか。 ● 特に、本業務では、新規優良企業の発掘に加え、質の高いコンサルティングによる熟度の高い案件形成や各企業のニーズに応じたフォローアップの充実といったサービスの「質」の向上を重視している。これを踏まえ本業務の目的、期待される成果に照らして、適切かつ効果的な業務実施の基本方針が提案されているか。 ● 提案されている業務の方法については、具体的かつ現実的なものか。 ● 四国における民間企業の海外展開に係る現状・課題分析及びそれに対して本業務を通じた課題解決方法が提案されているか。	70
(2) 業務実施体制、要員計画	● 提示された業務の基本方針及び方法に見合った実施体制や要員計画が具体的かつ現実的に提案されているか、業務実施上重要な専門性が確保されているか。 ● 途上国の開発課題、海外展開支援双方の視点でのコンサルティングが求められており、体制としてバランスがとれているか。 ● 具体的かつ現実的なスケジュール案が提示されているか。	30
3. JICAの民間連携事業についての意見、アイデア等		50

合計 250 点